

平成24年度 県議会と県民との意見交換会「あなたのそばで県議会」
 における回答保留分に対する回答

【屋久島会場】

意見の概要	<p>○ 公共事業予算の確保について 屋久島の幹線道路の改良工事は、現在、白谷雲水峡線、屋久島公園安房線の2カ所が行われている。 鹿児島県の全体の公共事業が3分の1になる中で、屋久島の工事も3分の1となっている。以前は8億、9億あったところが2億円程度となっている。これではやっていけない。かつては40社以上あったが、現在は20社である。雇用の場としても大きな場で重要である。仕事がないために廃業したり、事業縮小している状況であり、予算の獲得にむけて今年度中に迅速に対応していただきたい。</p>
担当議員	県議会議員 日高 滋議員（西之表市・熊毛郡区選出）
対応・取り組み状況	<p>現在整備中の2路線については、これまで継続的に整備を進めてきています。 国の平成24年度の公共事業予算は、昨年、一昨年に引き続き厳しい予算となっており、また、本県の道路整備の予算についても、大変厳しいものとなっています。 今後とも、道路整備の予算確保について、引き続き国に要請して参りたいと考えています。</p>

意見の概要	<p>○ 港湾（宮之浦港、安房港）の整備促進について 屋久島の主な港湾は宮之浦港、安房港である。 宮之浦港火之上山埠頭は観光クルーズ船が年間50回以上寄港する。観光クルーズ船の寄港ランキングでいうと、全国3位、九州1位となっている。飛鳥Ⅱは接岸するが、半分はみ出ている。 安房港を含め、両港の整備推進をお願いしたい。</p>
担当議員	県議会議員 日高 滋議員（西之表市・熊毛郡区選出）
対応・取り組み状況	<p>宮之浦港は、平成18年度までに3万トン級の観光クルーズ船が接岸できるように整備されましたが、飛鳥Ⅱなど5万トン級の観光船は入港できない状況にあります。 現在、県では、宮之浦港・安房港において防波堤の整備を行っています。 大型観光船に対応した港湾の整備推進に当たっては、地元屋久島町とも連携を図っていただきたいと思います。</p>

意見の概要	○ ジェット化に対応した屋久島空港の整備促進について 屋久島空港について、現在プロペラ機が就航しているが、いつかはジェット機が飛行すると思われるので、ジェット機に対応できる空港にしてほしい。
担当議員	県議会議員 日高 滋議員（西之表市・熊毛郡区選出）
対応・取り組み状況	屋久島空港のジェット化については、航空旅客の需要の動向や航空会社の就航機種（ジェット機）の見通しに加え、世界自然遺産に登録されている屋久島の自然環境との調和を考慮しながら検討していく必要があると考えます。 併せて、地域住民の理解を得られることが極めて重要であると考えます。

意見の概要	○ 治山砂防工事の促進について 屋久島では、雨が年間 8000 ミリから 10000 ミリ降っている。雨に強い島ではあるが、昭和53年の豪雨では、永田地区で土石流災害、床上浸水があった。 日本一飛び抜けて降水量が多い島であるので、治山砂防工事を推進してほしい。
担当議員	県議会議員 日高 滋議員（西之表市・熊毛郡区選出）
対応・取り組み状況	安心・安全な県土づくりを県政の重要な課題として、土砂災害の防止対策を進めてきているところであります。 今後とも、ハード・ソフトが一体となった総合的な災害防止対策が必要であると考えています。